

2026（令和8）年度 高崎経済大学大学院  
地域政策研究科博士前期課程（秋季日程）  
入学試験  
共通問題  
（地域政策学の基礎）  
（10：45～11：45）

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1ページ、解答用紙は2枚あります。
3. 解答には筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル）、消しゴム以外のものは使用してはいけません。
4. 試験中に問題用紙及び解答用紙の印刷不鮮明、汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答用紙の※印欄には、なにも記入してはいけません。
6. 問題用紙は、持ち帰ってください。

## 共通問題：地域政策学の基礎

### 【問題】

（選択１）～（選択３）の中から２つを必ず選択し、解答しなさい。なお、選択した番号（１～３のいずれか）を解答欄の最初の部分に記入しなさい。

#### （選択１）

都市への人口集中にはメリットとデメリットがあるとされる。このことに関連して、次の２点について解答しなさい。なお、解答の際には冒頭に番号のみを記載してから論述すること。

（１）一般的に、都市に多数の人々が集まった際に生じる住民・産業・社会などへのメリット・デメリットを列举し、それぞれ簡潔に説明しなさい。

（２）（１）の内容を踏まえて、現代において大都市への一極集中を是正し、中小都市や農村部の持続可能性を高める方法を論じなさい。

#### （選択２）

文部科学省では、令和５年度から７年度までを「改革推進期間」と位置付け、部活動を学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行・展開（以下、地域展開）することを地方自治体に求めている。これについて、部活動の地域展開実施における課題を地域クラブ側、生徒側の視点からそれぞれ述べよ。

#### （選択３）

地方創生推進に向けた「ふるさと住民登録制度」など、いわゆる「第二の住民票」や「二重の住民登録」といった議論がある。このことに関連して、次の２点について解答しなさい。なお、解答の際には冒頭に番号のみを記載してから論述すること。またその順番は問わない。

（１）こうした制度は、なぜ求められるようになったのか。その背景にあることは何か。

（２）制度として導入された場合、その課題として考えられることは何か。